

# 平成 30 年度神奈川県青少年柔道錬成会 実施要項

- 1 趣 旨 武道振興の一環として、日頃武道に精進している県内の青少年が一同に集い技術の交換を通じて親睦を図ると共に、更に高い技術を修練する。
- 2 日 時 平成 30 年 8 月 19 日（日）午前 9 時 30 分開会
- 3 会 場 「神奈川県立武道館」 横浜市港北区岸根町 725 番地  
横浜市営地下鉄線「岸根公園」駅下車 徒歩 3 分
- 4 主 催 神奈川県柔道連盟・神奈川県立武道館
- 5 参加対象 本県に在住・在学する小学生 3 年生・4 年生・5 年生・6 年生で今年度全日本柔道連盟に登録済又は登録申請中の者とする。
- 6 実施内容 ア 個人試合（高点試合方式）  
イ 小学 3 年生・4 年生・5 年生・6 年生の男女別で行う  
ウ 3 人勝抜きで表彰する
- 7 審判規定 (1)国際柔道連盟試合審判規定及び国内における「少年大会特別規定」で行う。  
(2)試合時間は 3 分間とする。  
(3)判定基準は、「技有」・「指導 2」以上とする。  
(4)大会申し合わせ事項として、寝技の攻撃・防御において抑え込もと相手の腋を掬い返そうとする状態の時に相手の肩関節が極まる、あるいは肩関節に損傷を及ぼす判断をした場合は、受傷を防ぐために早めの「待て」とする。  
(5)「逆背負投」（通称）の様な技を施すことは、「少年大会特別規定」による反則負け（重大な違反）とする。例えば一方の試合者が右組、他方の試合者が左組の体勢から、右組の試合者が正しく組んだ釣り手側の前襟を両手で握りながら、右足前回り捌き又は左足後ろ回り捌きで技を施し、相手を左方向に一回転させながら捻りを加えて背中、又は頭から投げ落とす様な技をいう。但し背負投を施して、相手が技を防御するために反対の肩越しに落ちた場合は含まない。  
(6)両袖を持って投げ技が施され、技を施された相手が「ヘッドディフェンス」以外に対処する事が出来ない投げ技を禁止する。（反則負け）併せて両袖持ちの状態から相手に抱きついて、小外掛、大内刈等で後方に浴びせ倒す事は後頭部強打の恐れがあり禁止する。（反則負け）
- 8 参加上の注意 (1) 当日の受付は午前 9 時～9 時 20 分までとする。  
(2) 当日の参加申込みは認めない（受付不可）。  
(3) 競技の特性上、責任者が付添い引率者不在の場合は出場を認めない。  
(4) 健康上に問題が認められる場合参加できない。

(5) 持物等には必ず記名し、貴重品は各参加団体が責任をもって管理する。

- 9 参加費用 1名 1,000円 (保険料等)
- 10 表彰 個人表彰 優秀賞 (3人抜き)
- 11 申込方法 「大会申込書」及び「短冊」に必要事項を記入し、参加費と共に現金書留において所属団体一括で申込すること。

申込締切日 平成30年7月27日(金) 厳守

申込先 〒221-0014 横浜市神奈川区入江1-22-8 入江郵便局留  
神奈川県柔道連盟 大友 隆雄 宛  
問い合わせ 西川 080-3525-5896 本田 080-5676-4814

※ 大会出場については、保護者の承諾が必要です。

申込用紙及び短冊は男子(黒)女子(赤)で記載して下さい。  
短冊は切り離してお申し込み下さい。  
出場選手はゼッケン(所属名・苗字)を背部に縫付けて下さい。

- 12 その他
- (1) 本大会において不慮の負傷(事故)・疾病については応急処置を施すが、それ以上の責任を負わない。
  - (2) 駐車場は公共機関をご利用下さい。
  - (3) ゴミの持帰り運動にご協力下さい。
  - (4) 皮膚真菌症(トングランス感染症)については、発症の有無を各所属の責任において必ず確認すること。  
感染が疑わしいもしくは感染が判明した選手については、迅速に医療機関において、的確な治療を行うこと。  
もし選手に皮膚真菌症が発覚した場合は大会への出場が出来ない場合もある。
  - (5) 傷害保険については、出場選手の傷害保険は主催者が加入し、その費用を負担する。

※脳震盪対応について

選手および指導者は下記の事を遵守すること。

- (ア) 大会前1ヶ月以内に脳震盪を受傷した者は、脳神経外科の診察を受け、出場の許可を得ること。
- (イ) 大会中、脳震盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。  
なお、至急、専門医(脳神経外科)の精査を受けること。
- (ウ) 練習再開に際しては、脳神経外科の診断を受け、許可を得ること。
- (エ) 当該選手の指導者は大会事務局および全柔連に対し、書面で事故報告書を提出する。